

ZENRIN

証券コード：9474

2019年3月期 第1四半期決算

2018年7月30日

株式会社ゼンリン

Maps to the Future

1. 2019年3月期 第1四半期決算概要

2. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「-」表記しております。

1. 2019年3月期 第1四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) セグメント情報
- 5) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

1-1)決算概要

2019年3月期 第1四半期決算のポイント

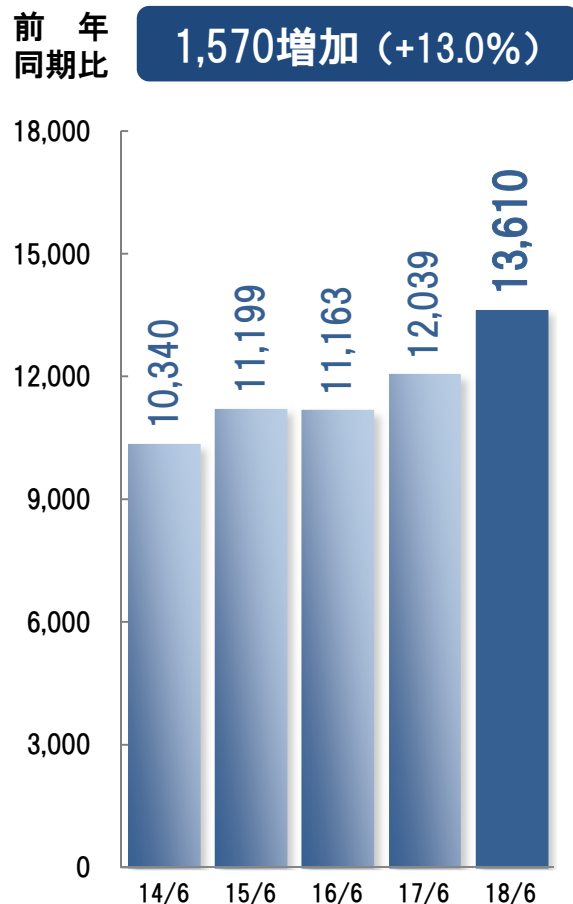
- 売上高は2期連続増収
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も2期連続改善(黒字化)
- 国内カーナビゲーション用データ販売が好調に推移、開発受託などのIoT関連の売上も増加
- 増収に伴う支払手数料などの売上原価が増加

(金額単位:百万円)

| | 2018年3月期 Q1実績 | 2019年3月期 Q1実績 | 前年同期比 | 増減率 (%) |
|----------------------|------------------|------------------|-------|---------|
| 売上高 | 12,039 | 13,610 | 1,570 | 13.0 |
| 営業費用 | 12,250 | 13,248 | 998 | 8.1 |
| 営業利益 | △210 | 362 | 572 | — |
| 営業利益率 | △1.7% | 2.7% | 4.4pt | — |
| 経常利益 | △53 | 560 | 613 | — |
| 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | △143 | 336 | 480 | — |

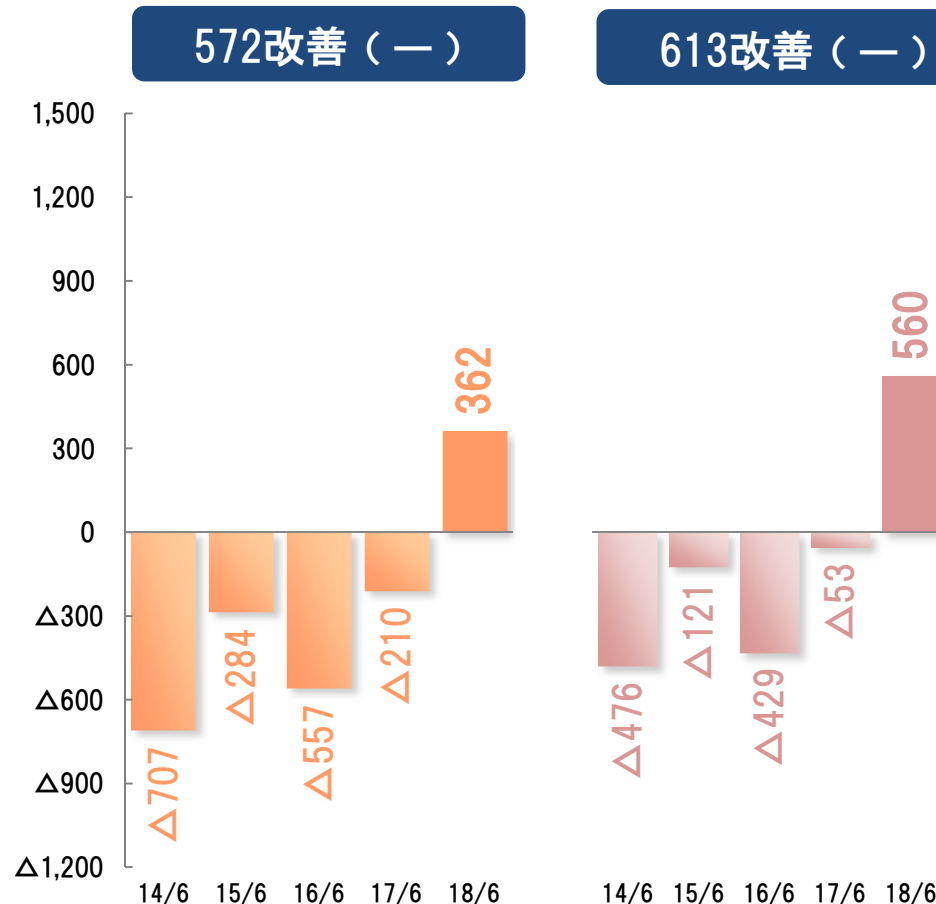
1-2)売上高・利益の推移

売上高



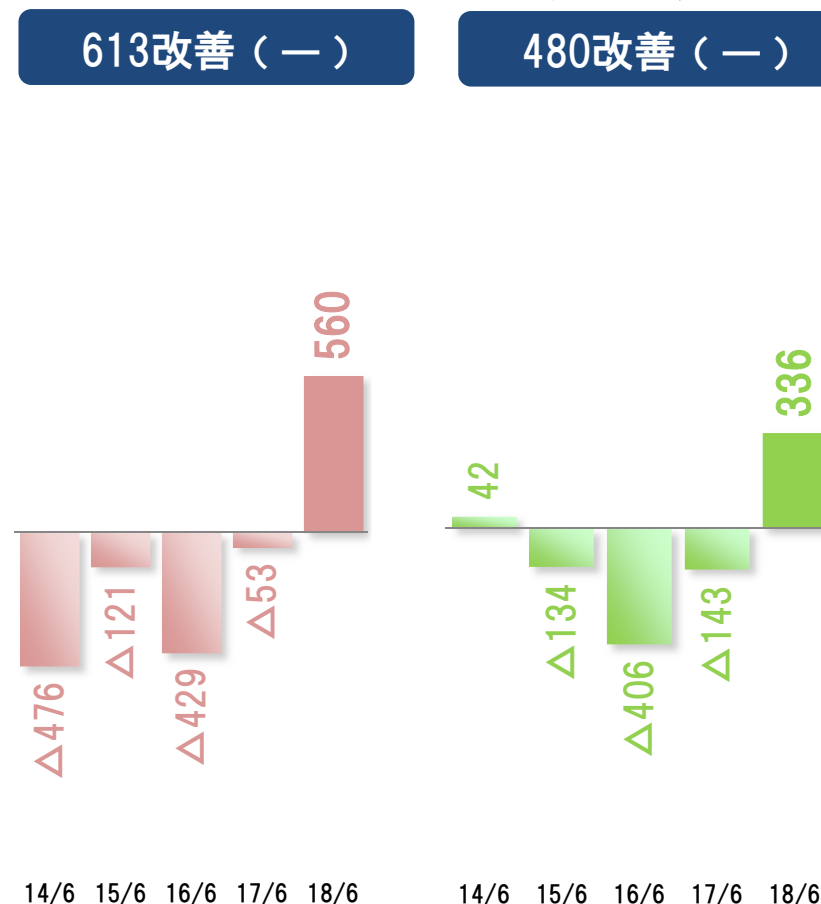
2期連続増収

営業利益



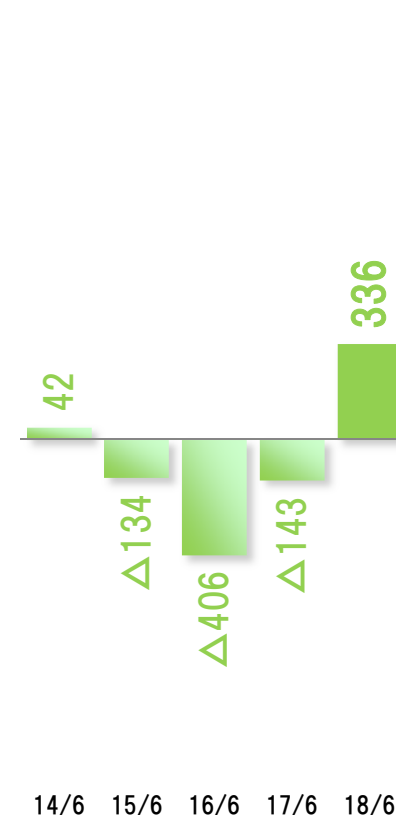
2期連続改善 (6期ぶり黒字化)

経常利益



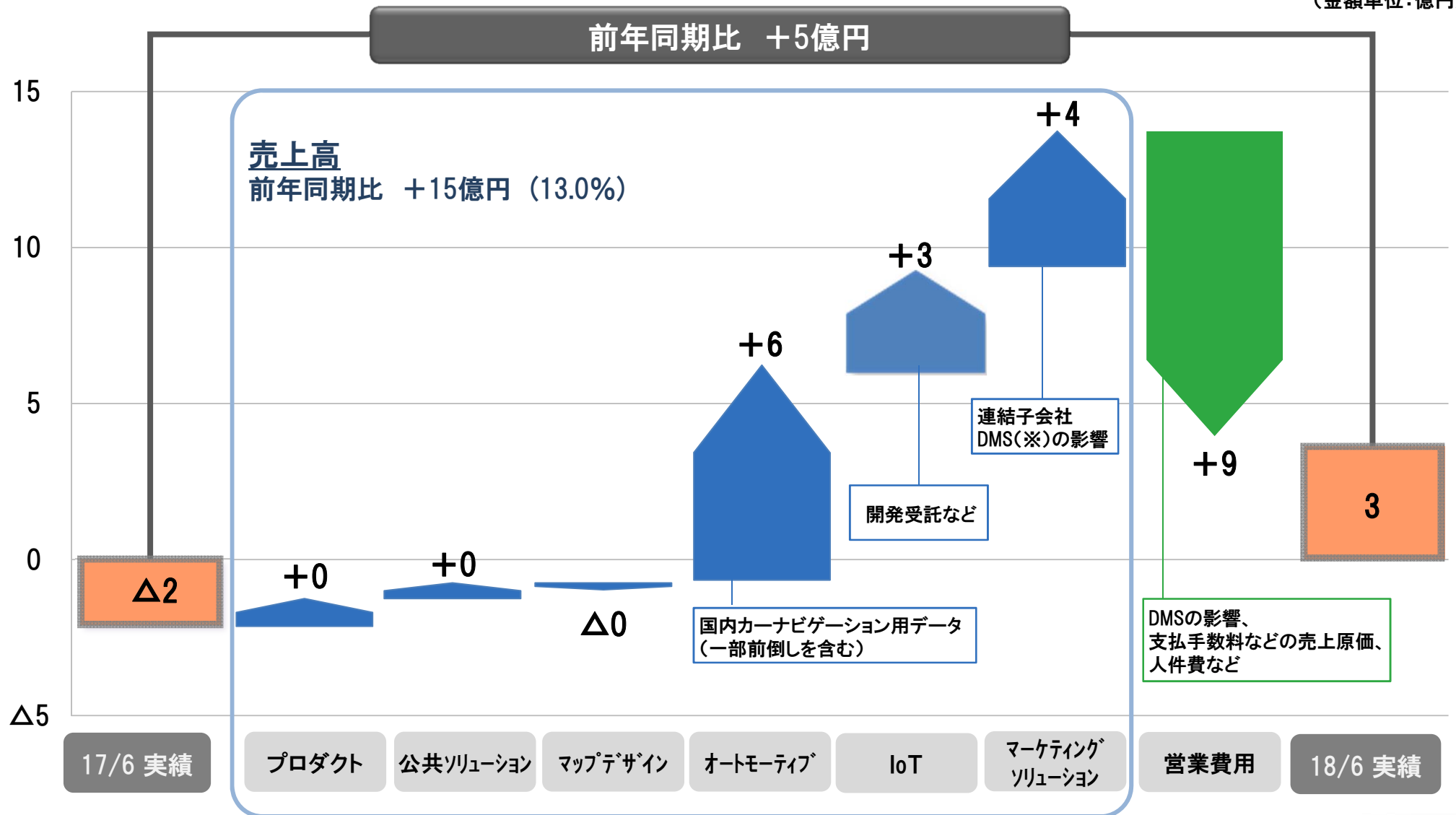
親会社株主に帰属
する四半期純利益

480改善 (一)



2期連続改善
(4期ぶり黒字化)

1-3) 営業利益増減要因



※DMS: 大東マーケティングソリューションズ(株)

1-4)セグメント情報

売上構成
比率

80.9%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



11.5%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ、
マーケティングソリューションの提供

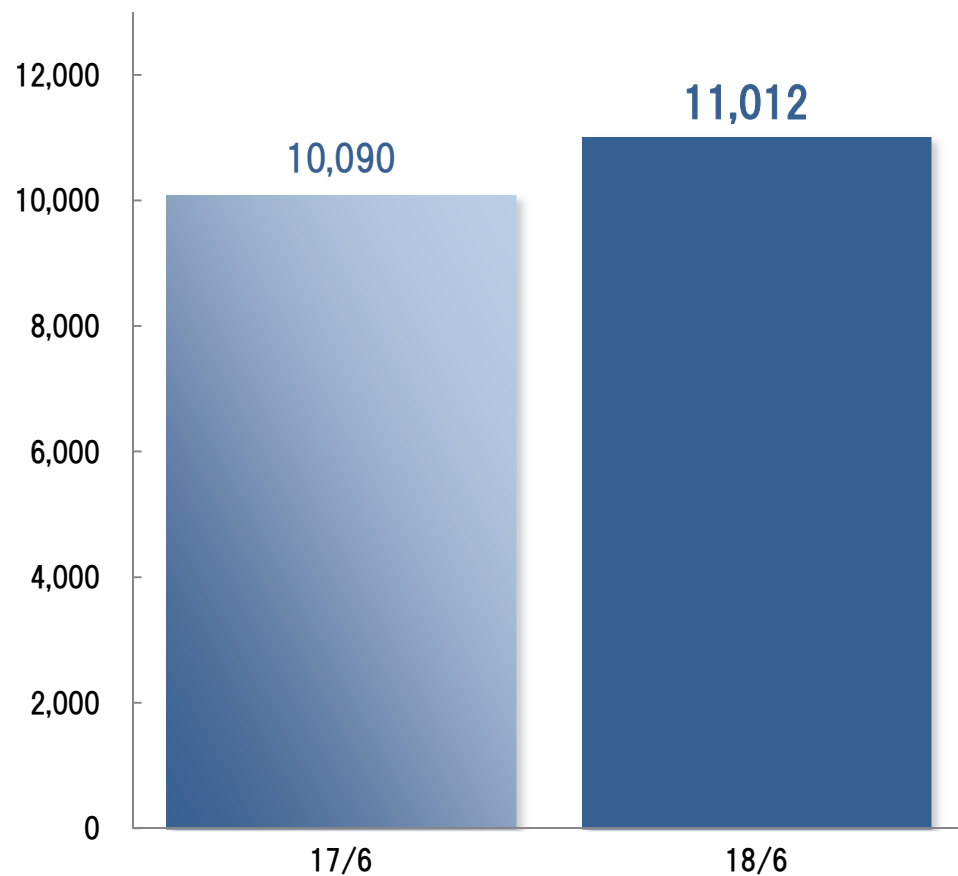


1-4)地図データベース関連事業

売上高

前年
同期比

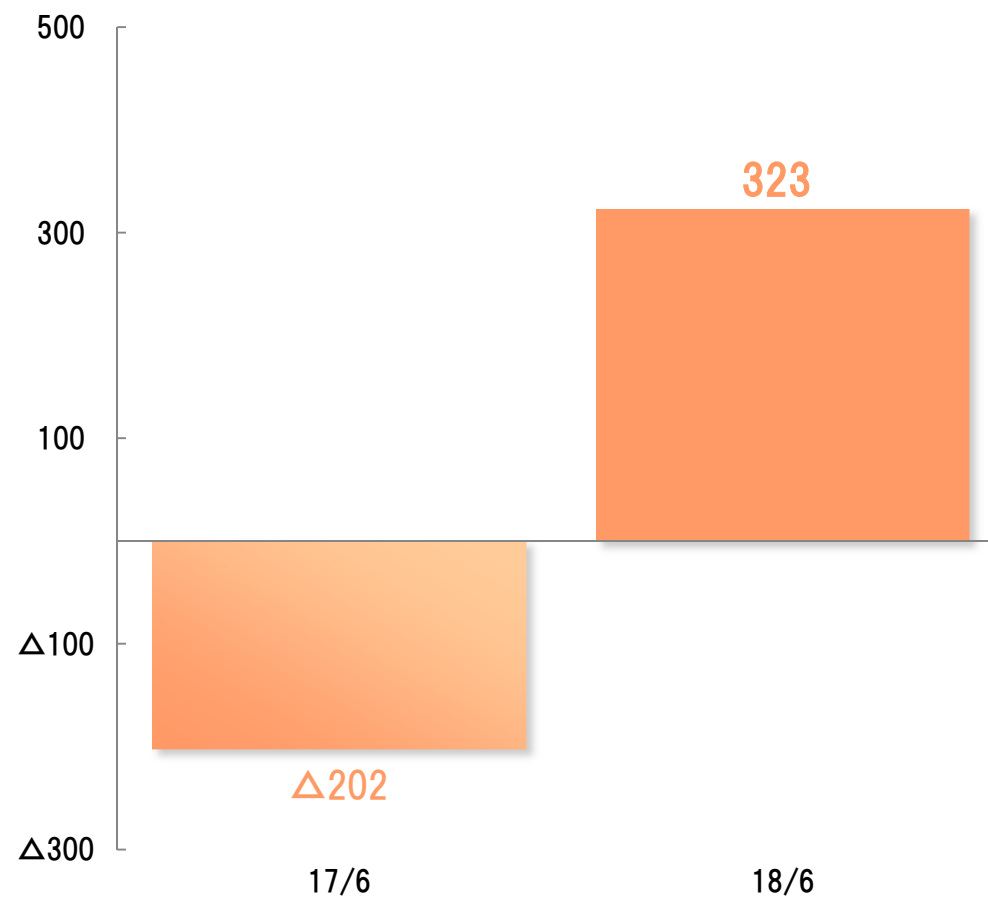
922増加 (+9.1%)



営業利益

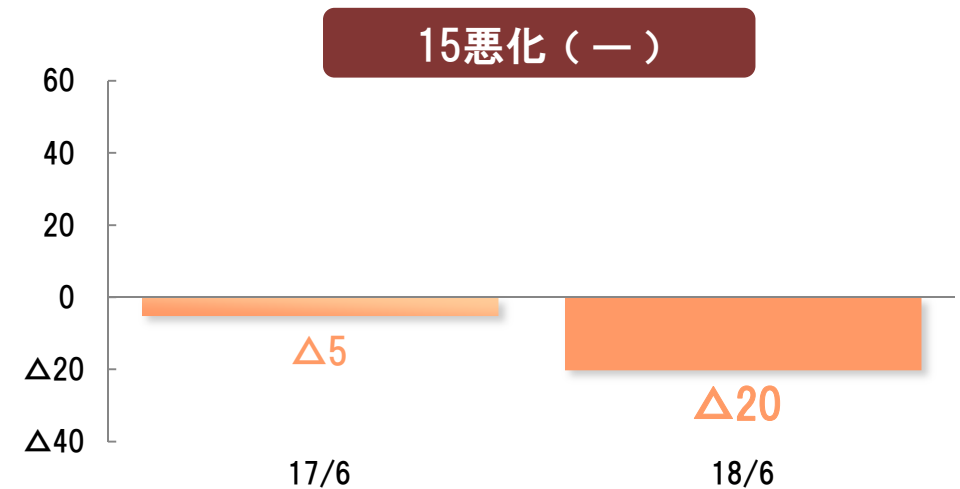
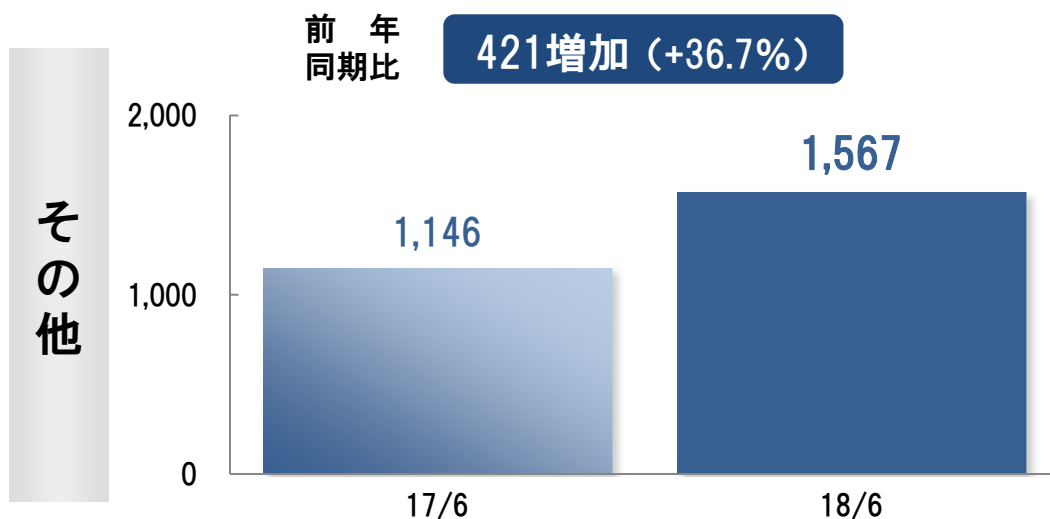
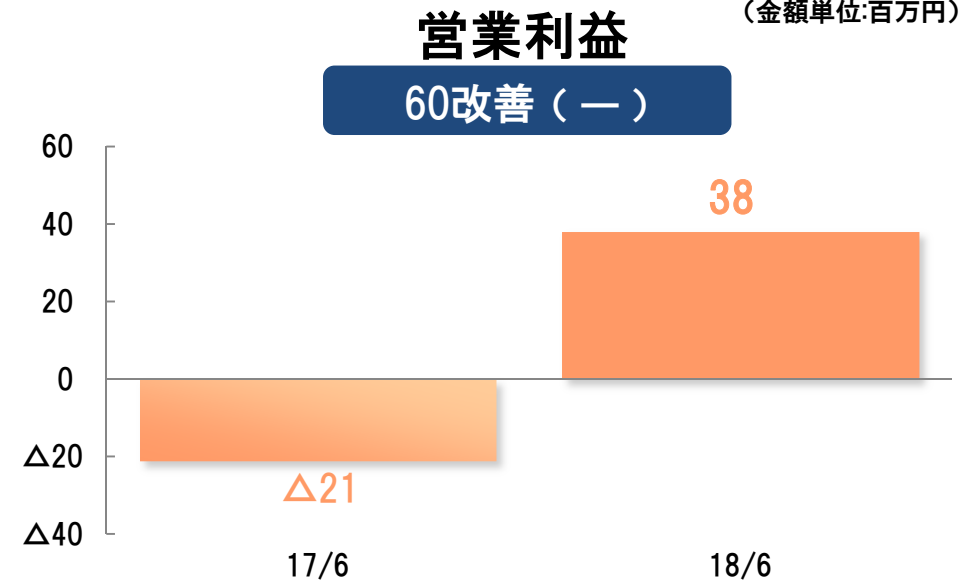
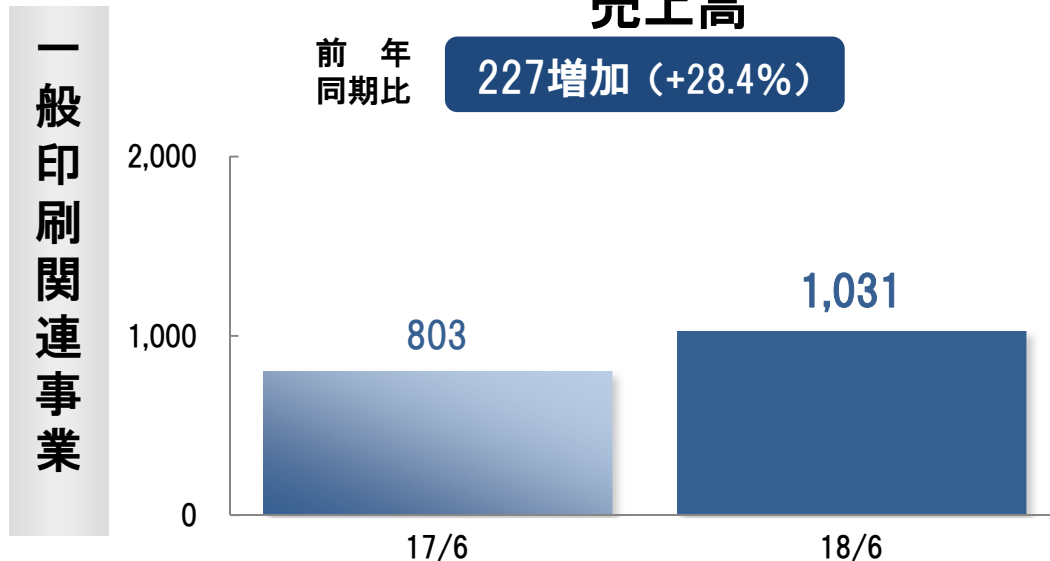
(金額単位:百万円)

526改善 (一)



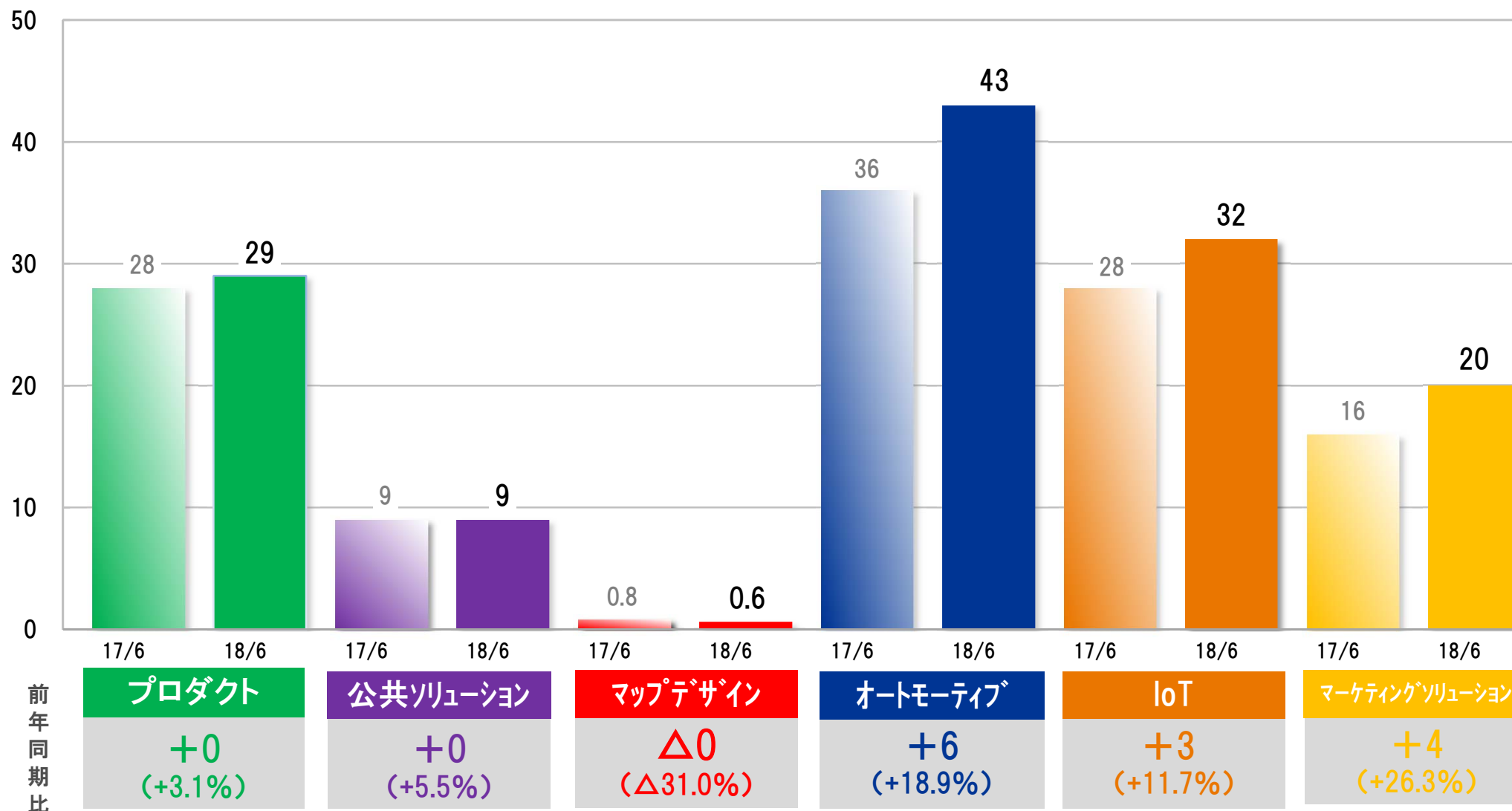
1-4)一般印刷関連事業・その他

(金額単位:百万円)



※「一般印刷関連事業」「その他」の主な増収要因は、前期より連結子会社となったDMSの影響

1-5) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高



※2017年6月実績は、旧事業区分から新事業区分への組替数値を使用

2. Appendix

- 1) 2019年3月期 第1四半期決算概要
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 2) 業績予想(4月27日公表値から変更なし)
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 4) 四半期売上高構成比推移
- 5) 事業トピック

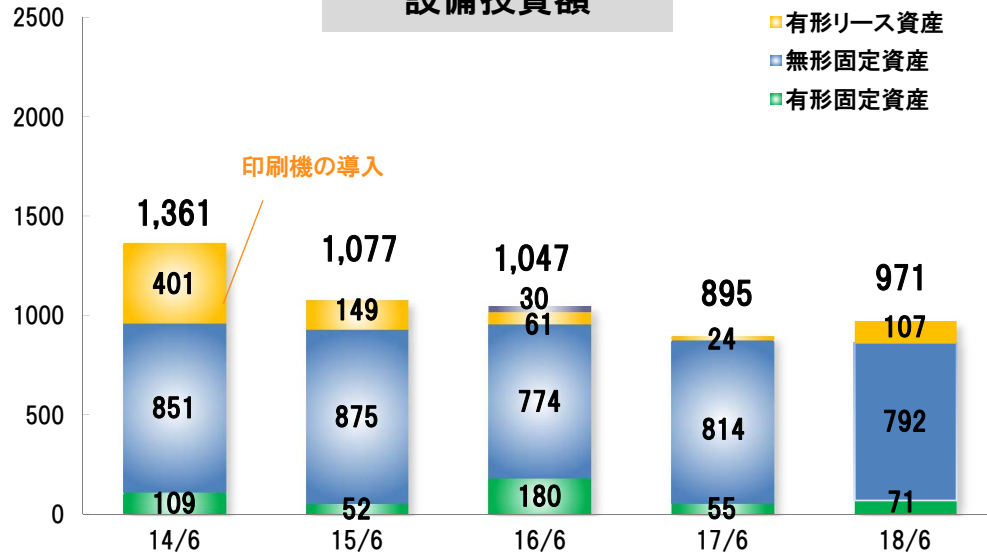
2-1) 第1四半期決算概要(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

2019年3月期 第1四半期連結決算

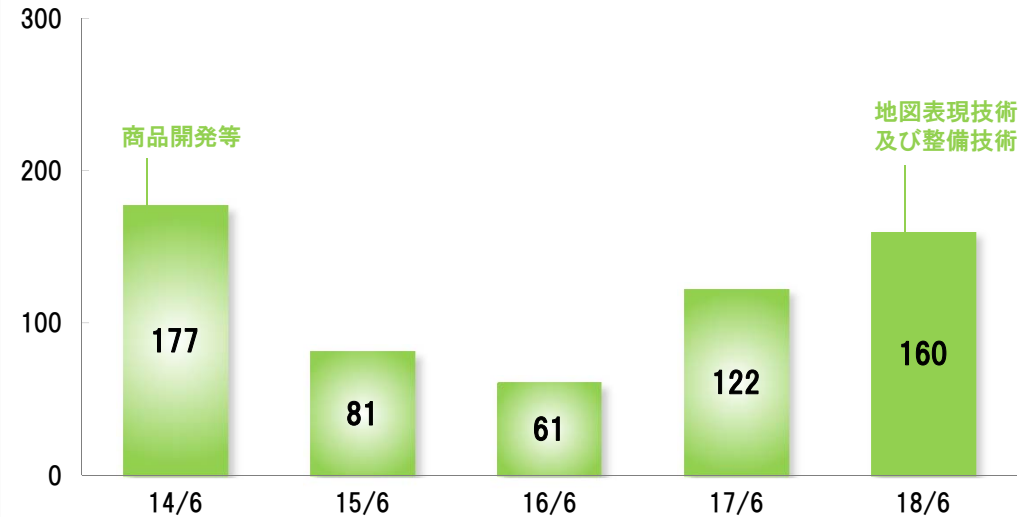
(金額単位:百万円)

設備投資額

- 無形リース資産
- 有形リース資産
- 無形固定資産
- 有形固定資産

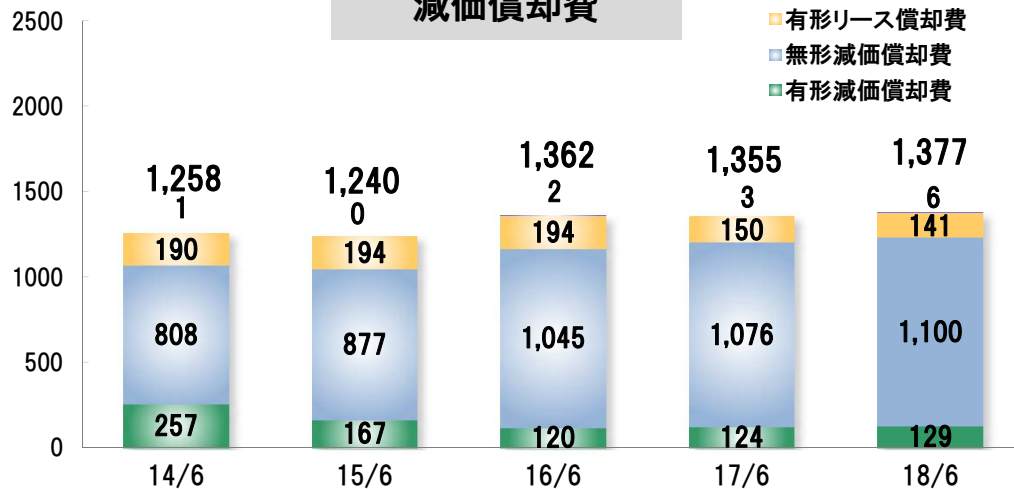


研究開発費



減価償却費

- 無形リース償却費
- 有形リース償却費
- 無形減価償却費
- 有形減価償却費



2-2)業績予想(4月27日公表値から変更なし)

第1四半期は順調に推移し、現時点でトレンドの変化はないが、従来より当社グループの売上高、利益共に季節的変動が著しく、第4四半期に集中する傾向にある為、予想は据え置くこととする。

(金額単位:百万円)

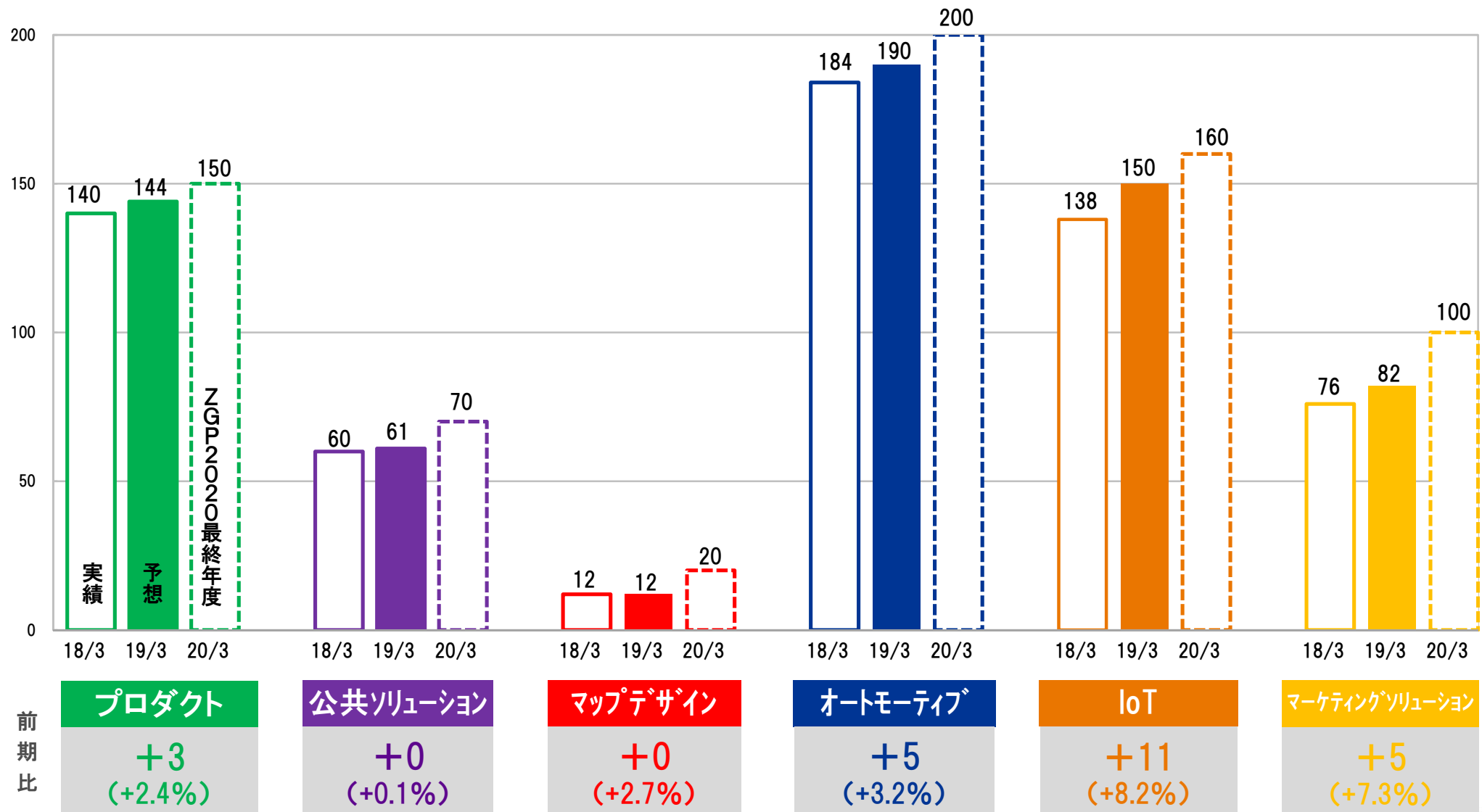
2019年3月期 第2四半期業績予想

| | 2018年3月期 Q2実績 | 2019年3月期 Q2予想 | 前年同期比 | 増減率(%) |
|----------------------|------------------|------------------|--------|--------|
| 売上高 | 26,016 | 27,000 | 983 | 3.8 |
| 営業費用 | 25,546 | 27,000 | 1,453 | 5.7 |
| 営業利益 | 470 | 0 | △470 | — |
| 営業利益率 | 1.8% | — | △1.8pt | |
| 経常利益 | 725 | 0 | △725 | — |
| 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 213 | 0 | △213 | — |

2019年3月期 業績予想

| | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 予想 | 前期比 | 増減率(%) |
|---------------------|----------------|----------------|-------|--------|
| 売上高 | 61,332 | 64,000 | 2,667 | 4.3 |
| 営業費用 | 55,890 | 58,200 | 2,309 | 4.1 |
| 営業利益 | 5,441 | 5,800 | 358 | 6.6 |
| 営業利益率 | 8.9% | 9.1% | 0.2pt | |
| 経常利益 | 5,863 | 6,200 | 336 | 5.7 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 3,336 | 3,700 | 363 | 10.9 |

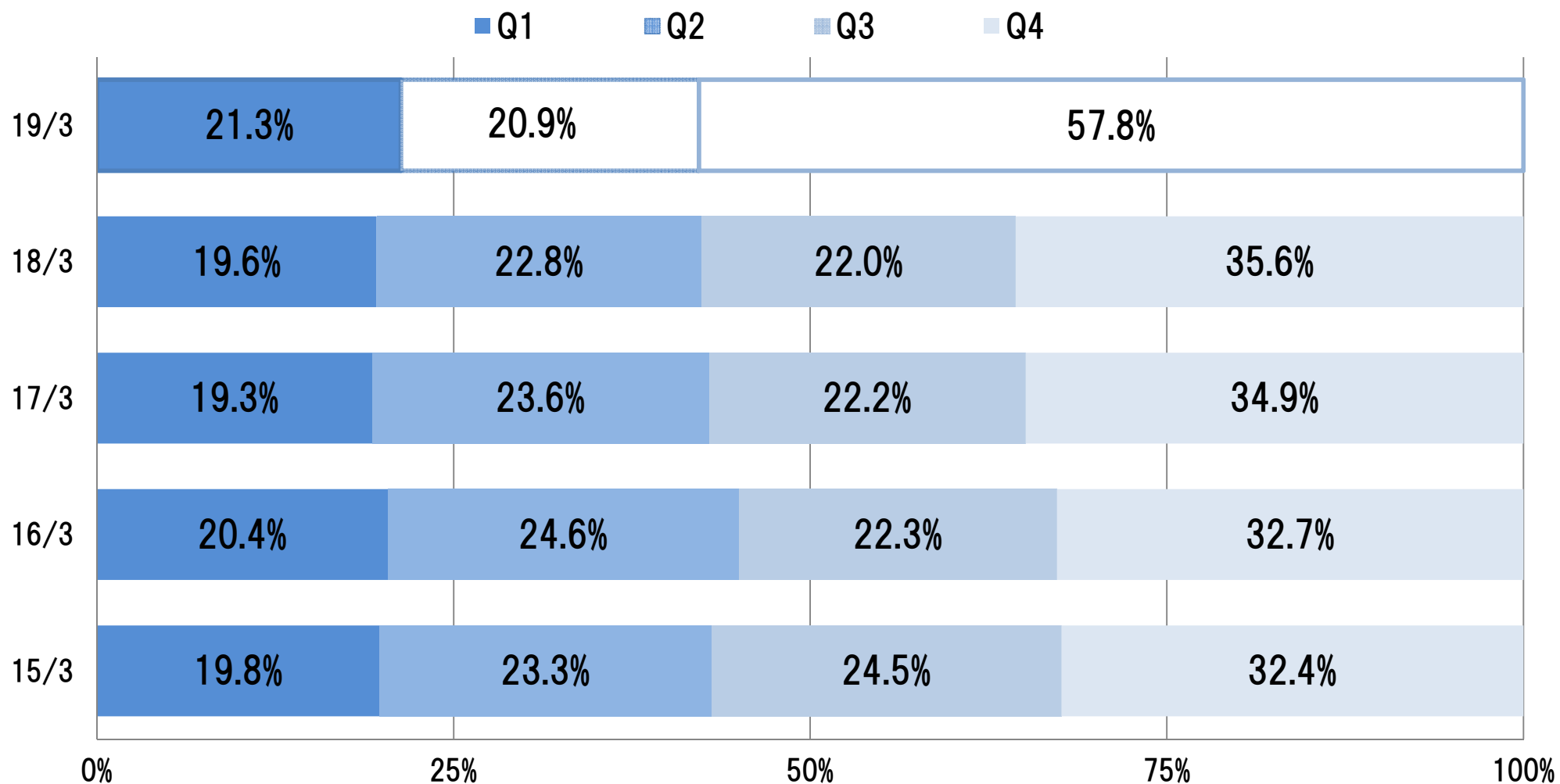
2-3) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高



※2018年3月期(白抜き棒グラフ)及び2020年3月期(ZGP2020最終年度)は、旧事業区分から新事業区分への組替数値を使用。

2-4)四半期売上高構成比推移

2019年3月期 第1四半期連結決算



(2018年6月20日)

■業界初！地図を使った社会科の自由研究キットを発売 見て、歩いて、地域を学べる「地図作りで発見！まちたんけんキット」

見て、歩いて、地域を学ぶことができる自由研究キット「地図作りで発見！まちたんけんキット」を2018年6月20日(水)から順次発売開始。本商品は、小学校2・3年生で学ぶ「まちたんけん」を題材とし、夏休み等の自由研究で活用することで、地理的な知識や感覚を育むことが期待できるキット。地図を使った社会科の商品は、自由研究キット市場において初登場。

■商品の特長

小学 2・3 年生の生活科・社会科の授業で学ぶ「まちたんけん」を題材に、自宅のまわりや商店街など身近な地域を、親子で一緒に見て、歩いて、地図づくりを体験することが可能。「まちたんけん」を学んだばかりの夏休みの自由研究として最適。

書き込みに最適な、文字や記号がない正確で詳細な白地図を、日本全国どこでも大縮尺で出力。



(2018年6月21日)

■自治体の危機管理部門向けサービス 「ゼンリン住宅地図 LGWAN 防災パック」の提供を開始

自治体における防災部署の業務効率化を目的とし、2018年4月にリリースしたクラウド型の住宅地図サービス「ゼンリン住宅地図 LGWAN(※)」に、新しいラインナップとして「防災パック」を加え、2018年6月28日より提供開始

(※総合行政専用ネットワーク「LGWAN」環境に対応した住宅地図をベースとしたGISアプリケーション)

■「防災パック」とは

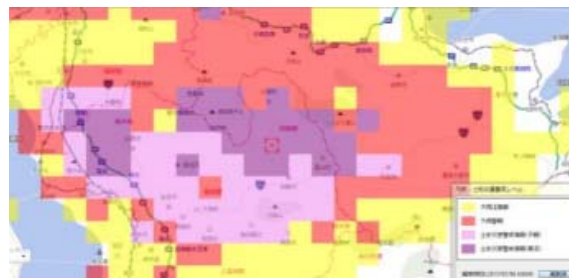
「ゼンリン住宅地図 LGWAN 防災パック」は、自治体の中でも住宅地図の需要が高い、防災関連情報を扱う危機管理部門向け新機能を追加したサービス。LGWAN 環境に対応した住宅地図の閲覧・印刷という基本機能に加え、災害発生時に素早く・効率的な対応ができるよう、防災部署の人手を補助する機能を提供。

エリア集計



指定エリア内の世帯数を自動でカウント

土砂災害警戒判定メッシュ情報表示



気象庁から配信される「土砂災害警戒判定メッシュ」を地図上に重畳。メッシュに重なった時点でアラート通知可能

UTMグリッド表示



災害対応時における、自衛隊との情報交換を効率化

(2018年6月22日)

■不動産情報の共有におけるブロックチェーン技術を活用したプラットフォームの商用化に向けた共同検討を開始

全保連(株)、(株)ネットプロテクションズ、(株)LIFULL、(株)NTTデータ経営研究所、(株)NTTデータ・グローバル・テクノロジー・サービス・ジャパンと当社は、不動産情報の共有におけるブロックチェーン技術を活用したプラットフォームの商用化に向けた共同検討を開始。

今後、この取り組みを広げていくため、関連企業の積極的な参加を呼び掛け、2018年夏頃を目処により多くの企業、研究機関等との連携も視野に入れたコンソーシアム設立を予定。

本検討の実施にあたり、不動産関連の各種情報を取り扱う全保連(家賃債務保証事業)、ゼンリン(地図情報事業)、ネットプロテクションズ(決済事業)、LIFULL(不動産ポータル事業)は、各社の業務及び保有する情報の特徴をもとにしたユースケースの導出を、NTTデータ経営研究所は共同検討全体の戦略立案・推進に係るコンサルティングを、NTTデータ・グローバル・テクノロジー・サービス・ジャパンは、POC(Proof of Concept:コンセプト検証)成果に基づくブロックチェーン技術開発の検討支援を実施。

ブロックチェーン技術を活用した不動産情報の共有プラットフォームの構築によって、従来できていなかった情報の共有管理を実現し、既存業務の効率化や不動産情報流通における情報の透明性・正確性の向上を目指す。

プラットフォーム上で各領域の事業者が連携することで、不動産情報の透明性・正確性を向上させるだけでなく、新たな不動産サービスや広告サービス、決済サービスをはじめとする金融サービスへの活用方法を検討。

(2018年7月12日)

■東京電力グループ・ゼンリン・楽天、「ドローンハイウェイ(※)」を活用したドローン物流の共同検討を開始

～世界初、送電設備を安全な空の道として利用した配送の実証実験に成功～

東京電力ベンチャーズ(株)(以下、「東電ベンチャーズ」と当社)、2017年3月29日に、ドローンの安全飛行をインフラ側から支援する「ドローンハイウェイ構想」の実現に向け業務提携。東京電力グループが保有する「送電鉄塔、送電線、変電所、電柱など」のインフラデータと、ゼンリンが開発を進める「空の三次元地図」を組み合わせ、「安全・安心な空の道」の早期実現に向けて取り組んでおり、2018年より関東に複数のテストコース開設を予定。

今回、「楽天ドローン」としてドローン配送サービスに取り組む楽天が、新たに「ドローンハイウェイ構想」に加わることで、安全な空の道「ドローンハイウェイ」の実用化に向けた検討を三社で協力して実施。すでに、2018年6月27日に、埼玉県秩父市において、第一回目となる共同実証実験を行い、世界初の送電設備を使ったドローン配送に成功。今後も、東電ベンチャーズ、ゼンリン、楽天の三社は、共同で実証実験を行い、「ドローンハイウェイ」を活用したドローン物流の実用化を目指す。

※ドローン専用の飛行空域・空路

当社WEBサイトで、実証実験の動画をご視聴いただけます。
<https://www.zenrin.co.jp/information/public/180712.html>



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail: zenrin-ir@zenrin.co.jp